ロスプリベンションへの道4 協働防犯(20)

和らぎをもって聲なきに聞き、形無きに見る大和魂

JEAS会員の熊検知・サイバー最前線・来場者満足の分析

聲なきに聞き、形無きに見る　その力の源は

小春日の朝方、郊外から山里へと散歩した。その帰り道に親戚筋のご夫婦のご自宅を通り、妻が先を歩いた。その後私が続いた。誰も庭にはいないと思ったが、ご自宅の前で「おはようございます」と一礼した。そしてその場を去ろうとすると誰もいないはずの庭から「おはようございます」と聞こえた。目を凝らしてみると庭の柿の木の向こうに人影があった。感謝の気持ちで、誰もいないことが分かっていて挨拶しただけだった。好々爺が嬉しそうに近寄ってきて、育てている菊や柿の話をしてくださり、帰り際に八つの次郎柿をいただいた。

その次郎柿を手にしたとき、なぜだか川路利良初代警視総監（大警視）の訓話集『警察手眼』の「探索の心得」に「聲なきに聞き、形無きに見る」という一節を思い出した。その意味するところは確か「警察官たるものは、声なき声に耳を傾け、表面的、外形的な現象のみにとらわれることなく、奥に隠されたモノを見逃すことなく、真実をあばき出すことが必要である」だったと思う。言葉の意味は漠然と理解していたが、何かもっと大切な視点が隠されているように感じた。

あらためて「探索の心得」を読み返してみると、その文章の前に「警察官は、悪人を探索する際と同じように、善人を探し出し支援することにも深い誠意を持つべきである。」とあった。人々への深い誠意や感謝の気持ちを持つ力をもつことで、はじめて奥に隠されたモノを見逃すことなく、真実をあばき出すことができるのかもしれない。善なるものを感じる力のことは日頃あまり意識しないものだが、光があってこそ影を知ることができるのだと再認識させられた。『警察手眼』は警察官に対する訓話、語録をまとめたもので、警察官の心得として今も読み継がれている。

10月30日に韓国慶州で行われた日韓首脳会談で、高市早苗首相が韓国国旗に向かって一礼する姿が韓国で大きな話題となった。複数の韓国メディアは「異例の所作」「韓国を尊重する意思の表れ」と好意的に報じた。李在明大統領は11月1日の記者会見で、高市首相について「非常に良い印象を受けた」と述べ、今後の日韓関係について「はるかに良い段階に進める」と語った。相手国や人々への礼節・深い誠意が共栄の糸口になることを日韓の両国の共通認識として育んで欲しいと願う。

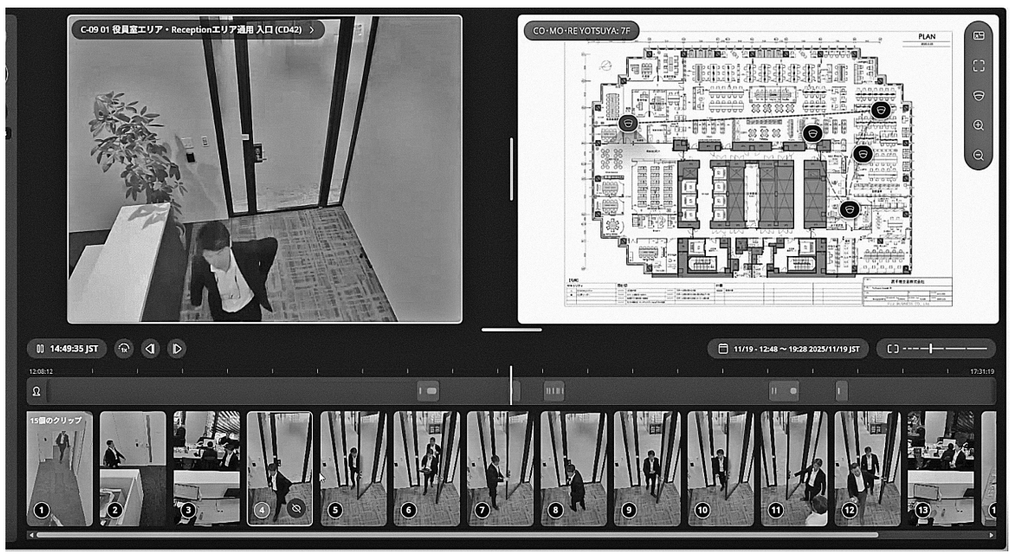
時として、首相もロス対策士も、課題解決のために虎穴に入らなければいけない場面がある。その際に心構えとして『警察手眼』の教えは、私たち民間人にとっても、今後なお役立つものではないだろうか。

第7回宵カフェ開店　熊対応を検討

11月19日（水）19時よりJEASではオンライン・カフェ（第7回宵カフェ）を開催し、熊退治のAIカメラシステム活用（現状と課題）と防犯カメラ映像500件が海外サイトに流出したことなどについて情報交換しました。カフェマスターのJEAS会長から、本日のメニューの紹介があり、くちあけに、ダイワ通信（株）熱行役員の小西啓太氏がAIサーバと防犯カメラを組み合わせた「クマ検知AIカメラソリューション」の事例を紹介され、続いて高千穂交易（株）ビジネスセキュリティ事業部本部の三井茂生氏がクラウドベースのセキュリティカメラシステムを提供するVerkadaの新機能「Animal Detection（動物検知）」と「特定人物のカメラの追跡機能」の説明を行った。その他、アクシスコミュニケーションズ（株）シニアアカウントマネージャー（リテール）の森川真次氏を中心に防犯カメラ映像が海外サイトに流出している事案への対応策を話し合った。

宵カフェマスターとスタッフの笑顔ちゃんとメガネくん

ダイワ通信　クマ検知 AI システム



高千穂交易　Verkada の新機能　MAP に回遊場所の自動記憶

11月26日第21回東京万引き防止官民合同会議にて共同宣言を発出

この内容はNHKや日経新聞などで広報され、その後、NHKラジオ「NらじにてJ」にて12月11日（木）午後6時からの放送で万防機構の樋口建史理事長が詳しい趣旨説明をされた。ちなみに16年前の同会議発足当時よりJEAS会長は防犯設備委員会副委員長を拝命し責任者養成講座の講師やガイドラインの作成に携わっている。この共同宣言はJEASの存在意義に関わるものとして翌日全会員に配信された。

令和7年11月26日

第21回東京万引き防止官民合同会議・共同宣言

「東京万引き防止官民合同会議」は創設以来 16 年にわたり、官民が連携し、様々な万引き防止活動を通じて、規範意識の向上と安全で安心な社会の実現に寄与してきました。

しかしながら今なお、万引きは刑法犯認知件数の一割を超えるという高い水準で発生しており、被害額は全国で年間 3,460 億円と推計されています。万引きは正に官民挙げて取り組むべき社会問題です。

本合同会議は、高い規範意識を保持することの重要性に鑑み、引き続き、万引きを思いとどまらせるための活動に鋭意取り組むとともに、現下の犯罪ビジネスとしての万引きの増大を踏まえて、以下の 2 点に着目し、被害企業がより一層効果的な防止対策を講じることができるよう支援してまいります。

店舗の現場における万引き対策には、多くの利用者の皆様が不便や不快を感じられる一面もあることから、広く都民国民の皆様にご理解とご協力をお願いします。

1 防犯カメラ画像の更なる利活用の促進

近年、組織的な万引きがエリア単位で連続的に発生しており、被害企業が防犯カメラ画像を相互に利活用することによって、被害の拡大を防止できた事例が少なくありません。被害企業相互の利活用が、肖像権やプライバシーを尊重し、個人情報保護法の認める範囲内で懸念なく実施できるよう、相互に利活用するための運用基準や要件について調査研究を進め、広く社会の理解を得るための取組みに注力します。

2 IT 技術を活用した万引き防止の推進と社会的機運の醸成

万引き防止には、IT 技術の活用が不可欠となっています。中でも RFID 等の商品個体識別は、タグ取付けの実施主体や導入コスト等、解決すべき課題はあるものの、商品管理の合理化・効率化に有効であるだけでなく、万引き防止と犯人検挙にも非常に有効です。

本合同会議は、幅広い官民との連携を図りながら、RFID 等の普及促進に向けて、社会的な機運の醸成に注力します。

緊急ハイブリッドセミナー「サイバー空間の脅威に対処するための体制の構築及び人的・物的基盤の強化」開催

JEASでは11月28日（金）に緊急ハイブリッドセミナー「サイバー空間の脅威に対処するための体制の構築及び人的・物的基盤の強化」と題するセミナーを高千穂交易セミナールームで開催した。

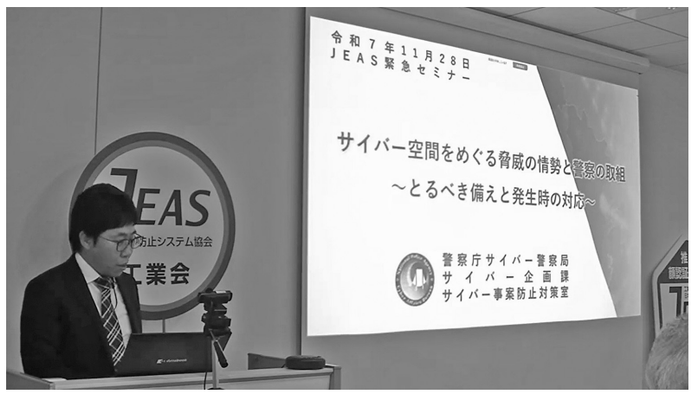
セミナーでは、サイバー空間における警察の取組やサイバーセキュリティ企業から被害防止策などが提示された。

セミナーでは、警察庁サイバー警察局サイバー企画課サイバー事案防止対策室の中川陽介課長補佐が「サイバー空間を巡る脅威の情勢と警察の取組」、高千穂交易BSC事業本部BS事業部サイバーセキュリティソリューショングループの小山大地グループマネージャーが「〝今どきのランサムウェア〟にどう備えるか？～日本初登場の「Halcyon」で実現する強固なセキュリティ対策～」、セコムトラストシステムズの山口早雄インサイドセールス2部部長が「セキュリティインシデントが起きる前に今何をすべきなのか？～サイバーセキュリティ教育とアタックサーフェス調査のススメ～」の順で講演が行われた。

セミナーでは、サイバー空間の脅威として挙げられる問題点や被害状況に加え、現代のサイバー攻撃から組織が被害を未然に防止するために必要な対策などが説明された。

ハイブリッドセミナー「大手リテーラーのデータアナリティクス組織紹介」を開催

12月11日（木）にはハイブリッドセミナー「大手リテーラーのデータアナリティクス組織紹介」を開催した。講師はイオンセンターリーダーの八木研一郎様が担当され、イオングループ約300社のデータサイエンス事例をご紹介いただいた。司会は当工業会のデータサイエンティストの高千穂交易（株）ビジネス事業本部BSCマーケティング戦略推進部RSチームの野口祥子さんと日向紗代子さんのママ友コンビが務め、約40名のご参加をいただいた。なお、本セミナーのアーカイブ配信は行っていない。



JEAS理事会の様子

第4回理事会を12月12日（金）15時より高千穂交易（株）セミナールームでハイブリッドにて開始した。15分勉強会×2コマは次の内容。

①Beesmile（https://aecom.co.jp/beesmile）のデモンストレーション（43インチのたて型のデジタルサイネージ）を使った「笑顔測定ランキングシステム」のご紹介。講師は（株）アーツエイハン代表取締役の飯塚吉純様

②ネクストウェアの八木研一郎様

ハイブリッドセミナー「大手リテーラーのデータアナリティクス組織紹介」を開催

12月11日（木）にはハイブリッドセミナー「大手リテーラーのデータアナリティクス組織紹介」を開催した。講師はイオンセンターリーダーの八木研一郎様が担当され、イオングループ約300社のデータサイエンス事例をご紹介いただいた。司会は当工業会のデータサイエンティストの高千穂交易（株）ビジネス事業本部BSCマーケティング戦略推進部RSチームの野口祥子さんと日向紗代子さんのママ友コンビが務め、約40名のご参加をいただいた。なお、本セミナーのアーカイブ配信は行っていない。

JEAS理事会の様子

第4回理事会を12月12日（金）15時より高千穂交易（株）セミナールームでハイブリッドにて開始した。15分勉強会×2コマは次の内容。

①Beesmile（https://aecom.co.jp/beesmile）のデモンストレーション（43インチのたて型のデジタルサイネージ）を使った「笑顔測定ランキングシステム」のご紹介。講師は（株）アーツエイハン代表取締役の飯塚吉純様

②ネクストウェアの八木研一郎様

部の福田幸一様を講師に「劇場用来場者100名の複数感情測定システムの活用事例をご紹介いただく。どちらも多数の質問があった。

それ以外ではDX推進プロジェクト田中崇リーダーが10月9日から10日に開催された「MUSUBU宮若」見学ツアーの参加報告を行った。理事会の最後には創価大学の安田賢憲教授より、担当するゼミ生が日本学生経済ゼミナール関東部会インナー大会プレゼンテーション部門の本選にて、最優秀賞（第1位）となった報告があった。ゼミ生たちは近年深刻化しているスーパーマーケットの万引き抑止のための教育動画を作成し、その効果などについて報告したとのこと。安田教授からは協力したJEASメンバーへの謝辞があった。その後、ゼミの渡辺君から12月13日に関西大学で開催されたインター大会の予選・本選で、84チームのなかから「優勝」（最優秀賞）に輝いたという連絡をいただいた。

毎月、何かしらのセミナーを開催しているJEASだが、今回約40名が参加した第4回理事会は過去最大の学びの場となった。

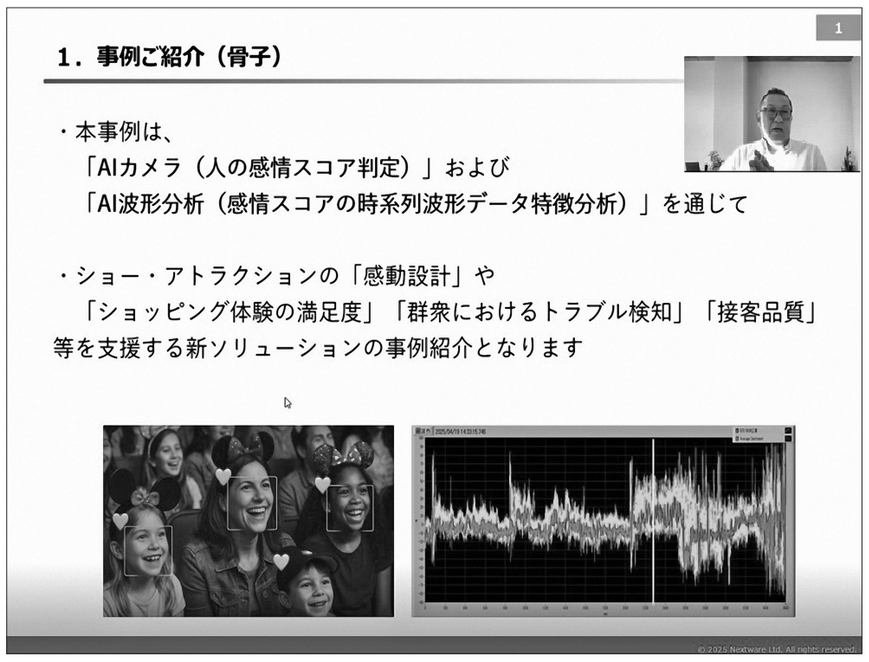
万防機構の教育研修例

①ロス対策士情報

2026年1月の検定試験実施に向けてのロス対策士検定試験受験対策無料オンラインセミナーは、11月22日（土）、12月11日（木）に行われた。セミナーは12月12日以降試験日の前日（1月5日）まで録画でご覧いただける。万防機構のHPより

②家庭裁判所での少年たちへの講演

12月10日（水）に、今年度3回目となる家庭裁判所「万引き被害を考える教室」の講演を万防機構の伊藤主任と行った。その際、前回の参加者のお申込みいただきたい。



『源氏物語の教え』大和魂、大和心

現在、確認できる「大和魂」という語の一番古い用例は『源氏物語』の「少女」にある。主人公の光源氏はこのように考えます。「息子の夕霧に安易に官位を授けるよりも「なほ、才をもととしてこそ、大和魂の世に用ゐらるる方も強うはべらめ」と。才＝漢学の知識を得る学問に励むことで大和魂を活かすことができる。この時の大和魂の意味は「実社会でやっていくための知恵や思慮分別」で、漢学の知識や学問と対比して使われている。作者の紫式部は光源氏の言葉として、自分の思想を私たちに残している。

この言葉が、江戸時代になると「清浄にして果敢でことにあたっては身命をも惜しまない」という意味になり、明治以降の天皇制における国粋主義思想の中でも特に軍国主義思想の元で盛んに喧伝され、多くの人を死に至らしめることになる。

ここで言う「大和心」の初出は、文章博士・大江匡衡（952年～1012年）と百人一首歌人であるその妻の赤染衛門（956年?～1041年）の問答に見られる。その現代語訳は

大江匡衡：知識・知性もない女を、学問で身をたてる博士の家の乳母にするとは…

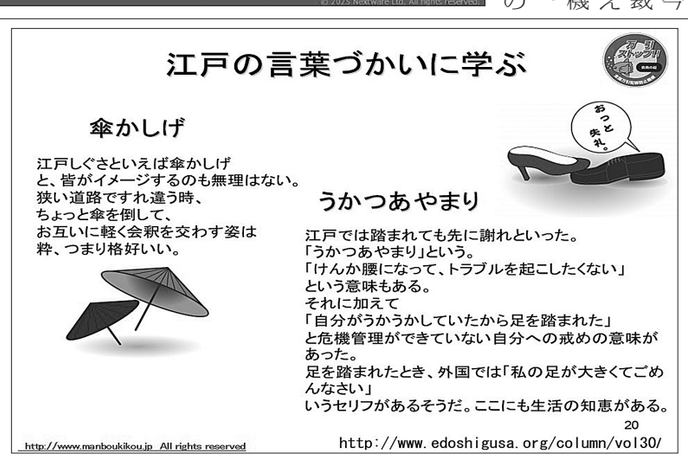
赤染衛門：大和心さえあれば、十分ではありませんか。

ここでいう大和心とは、日本人としてのあり方、人つきあいの方法とか常識、こころをさす。

千年前より、この風土に住む私たちの祖先は「大和魂」や「大和心」を生き方の中心に置いてきた。その思いを心に納め、仏壇に供えてあった次郎柿に手を合わせ、感謝をもっていただく。和らぎをもって人に接し、愛することを学ぶことで、聲なきに聞き、形無きに見ることができる。

元号「令和」の元となった「初春の令月にして気淑く風和らぎ」にあるように祖先は和を「わ」でなく「やわらぎ」と詠んだ。

令和8年、工業会JEASは和らぎをもって「防犯民主主義実現の旗の下　協働防犯への研鑽」をさらに進めることとする。



全国万引犯罪防止機構（通称：マンボウ）
万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人
文：事務局（稲本義範）